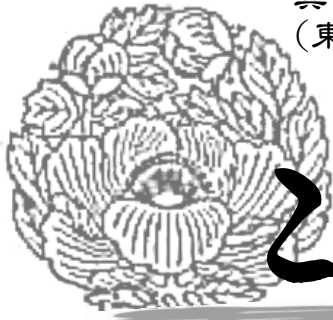


〒511-0073
三重県桑名市北寺町47番地
TEL (0594)-22-0652
FAX (0594)-22-0681
メール kwanabetsuin@gmail.com
全日 開門 6:00 / 閉門 17:00
(寺務所 平日 9:00~17:00)

真宗大谷派
(東本願寺)

桑名別院 本統寺



ご坊さんだより

2022年

4月

春季彼岸会法要 春の訪れを告げる

さる3月18日から24日まで、桑名別院の「春季彼岸会法要」を厳修しました。雨風が強い日もありましたが、比較的暖かい陽気に包まれ、桜のつぼみもふくらみ、春の訪れを感じる中での法要となりました。



桑名別院の彼岸は初日、中日、結願(最終日)の三日間は午前九時からの「日中法要」がととめられ、毎日午後一時からは「彼岸会総経」が勤められます。また、総経に併せて「花講講員追弔会」(一日目)「維持会員追弔会」(二日目)「復興永代経」(三日目)「戦没者追弔会」(五日目)等の別院を歴史的にお支えいただいた方や戦争や災害によって亡くなられた方々を偲ぶ法要を勤めています。

また、期間中の19日、20日、21日の休日三日間には法話があり、19日は西寺真也氏(伊勢市本覺寺住職)、20日は、荒木智榮氏(朝日町西光寺住職)、21日は、長崎直氏(長島町善明寺住職)より、それぞれ彼岸にあたって亡き人をご縁に私の間法の姿勢を確かめるご法話いただきました。



なお結願24日は、翌3月25日が蓮如上人の祥月命日であるため、総経と合わせて蓮如上人御命日の速夜法要が勤められ、本願寺再興の上人の遺徳を偲ぶ彼岸最終日となりました。参拝された方からは「コロナの影響でしばらくお参りできませんでしたが、亡くなった家族を偲び、仏法聴聞できてよかった」との声も聞かれました。

彼岸会はここ二年間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって法話の中止や院内勤めの法要を勤めてきましたが、三重県に適用されていた「まん延防止等重点措置」が解除になった今回は、のべ500人の方にお参りいただき、墓参りの方と併せ別院境内は多く人で賑わいました。





さる3月11日「勿忘の鐘
 —東日本大震災のつどい—
 が開催されました。このつど
 いは、三重教区内僧侶を中心
 とする「三重教区東日本大震
 災有志の会」と桑名別院が共
 同で開催するもので、東日本
 大震災から11年を経過し、
 風化されることなく地震や
 津波によってもたらされた
 深い悲しみを今もなお私た
 ちの心に刻み、決して忘れな
 いという誓いを立てる願
 いのもと毎年3月11日に開催
 されています。



東日本大震災から11年

忘れない誓い新たに

勿忘の鐘—東日本大震災のつどい—(3月11日)

今年は、新型コロナウイルス
 感染症のため人数を制限しな
 がらの開催となりました。
 まず、本堂にて有志の会代表
 と別院列座による法要が勤め
 られ、引き続き、復興支援の取
 り組みを続けられている4名
 の方からの現状報告と自身の
 思いが述べられました。



そして、鐘楼前に移り、震災発生時刻の午
 後2時46分に輪番が一打目を撞いたのを皮
 切りに参加者全員がそれぞれの思いを刻み
 ながら鐘を撞きました。
 つい先ごろ、東北地方で新幹線が脱線する
 ほどの大きな地震が発生し、不安の中で生活
 されている状況です。このつどいの願いとす
 るところを共有することが大切であります。

